



同時発表：
(国研)海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所

令和 7 年 6 月 25 日
港湾局技術企画課
国土技術政策総合研究所

作業船の自動・自律化施工等の社会実装に向けた検討を開始！

～港湾における建設現場のオートメーション化を促進～

i-Construction 2.0 の取組を推進するため、「港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会」のもとに、作業船の自動・自律化施工及び水中用 ICT 建設機械の遠隔操作化の社会実装に向けた検討を行う「遠隔操作・自動自律化施工 WG」を新たに設置し、6 月 27 日（金）に初開催します。

国土交通省では、2040 年度までに建設現場の省人化を少なくとも 3 割、すなわち生産性を 1.5 倍に向上することを目指す i-Construction 2.0 の取組を進めています。

現在、作業船の自動・自律化施工及び作業船の利用が困難な構造物近傍・狭隘部等で重要となる水中用 ICT 建設機械の遠隔操作化施工の社会実装に向けた検討を国土技術政策総合研究所や港湾空港技術研究所において進められているところ、この度、学術的知見や現場のニーズ等を効率的に取り込むため、新たにワーキンググループ（WG）を、港湾局と両研究所が共同で設置することにいたしました。

本 WG では、遠隔操作・自動自律化施工に関する施工手順、安全管理に関するガイドライン等を令和 8 年度末を目途にとりまとめるとともに、データ連携基盤、施工シミュレーション等のシステム開発を目指します。

第 1 回 WG を以下の通り開催します。

1. 日 時：令和 7 年 6 月 27 日（金） 15:30～17:30
2. 場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター（東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング）
カンファレンスルーム 16B
3. 議事内容：以下のテーマについて、目指す姿と期待される効果等について議論
テーマ①作業船の自動・自律化による港湾工事の省人化・安全性向上
※検討主体：国土技術政策総合研究所
テーマ②水中用 ICT 建設機械の普及による水中作業の効率化
※検討主体：(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
4. メンバー：別紙参照
5. その他：本 WG は非公開ですが、冒頭挨拶（議事開始前）のカメラ撮りは可能です。
カメラ撮りを希望される方は、当日 15:15 までに直接開催場所までお越し下さい。

（参考）港湾における i-Construction・インフラ DX 推進委員会

国土交通省 HP：https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000061.html



【問い合わせ先】

港湾局技術企画課 深津、對木（ついき）、石田

TEL:03-5253-8111（内線:46538、46526）、03-5253-8677（直通）

WG メンバー名簿

<学識経験者>

○岩波 光保 東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授

<関係団体>

加藤 雅啓 日本港湾空港建設協会連合会 専務理事

三代 利郎 全国浚渫業協会 業務運営委員会 委員長

富田 幸晴 一般社団法人 日本海上起重技術協会 専務理事

藤井 敦 一般社団法人 日本潜水協会 専務理事

守屋 典昭 一般社団法人 日本埋立浚渫協会 作業船の自動・自律化 WG リーダー

小黒 章二 一般財団法人 港湾空港総合技術センター建設マネジメント研究所 公共調達支援総室長

<行政機関>

須山 翔太 国土交通省 港湾局 参事官（技術監理・情報化）室
港湾工事高度化指導官

畠田 繁実 国土交通省 港湾局 技術企画課 港湾工事高度化室長

<オブザーバー>

東 好宣 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課 建設安全対策室
技術審査官

<事務局>

港湾局技術企画課、港湾局参事官（技術監理・情報化）室

国土技術政策総合研究所

海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

※ ○：座長

（敬称略）